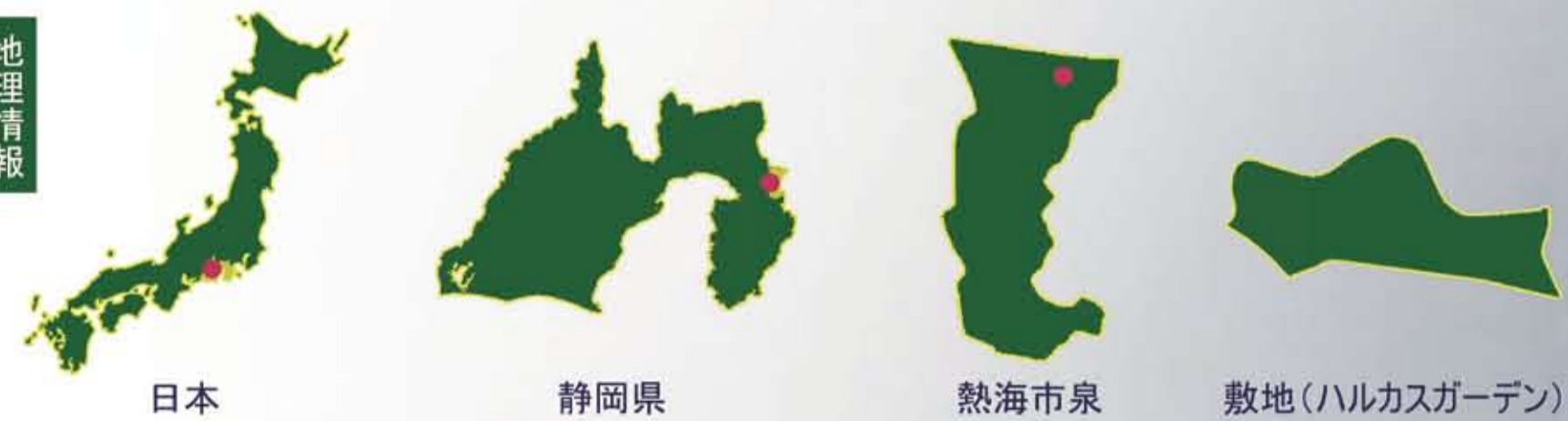


# 香る華街道と薫風の丘

企画者 特定非営利活動法人グランベルテ・東京農業大学造園学科科ガーデンデザイン研究室

## 地理情報



## 現況写真(いずみ ハルカスガーデン)

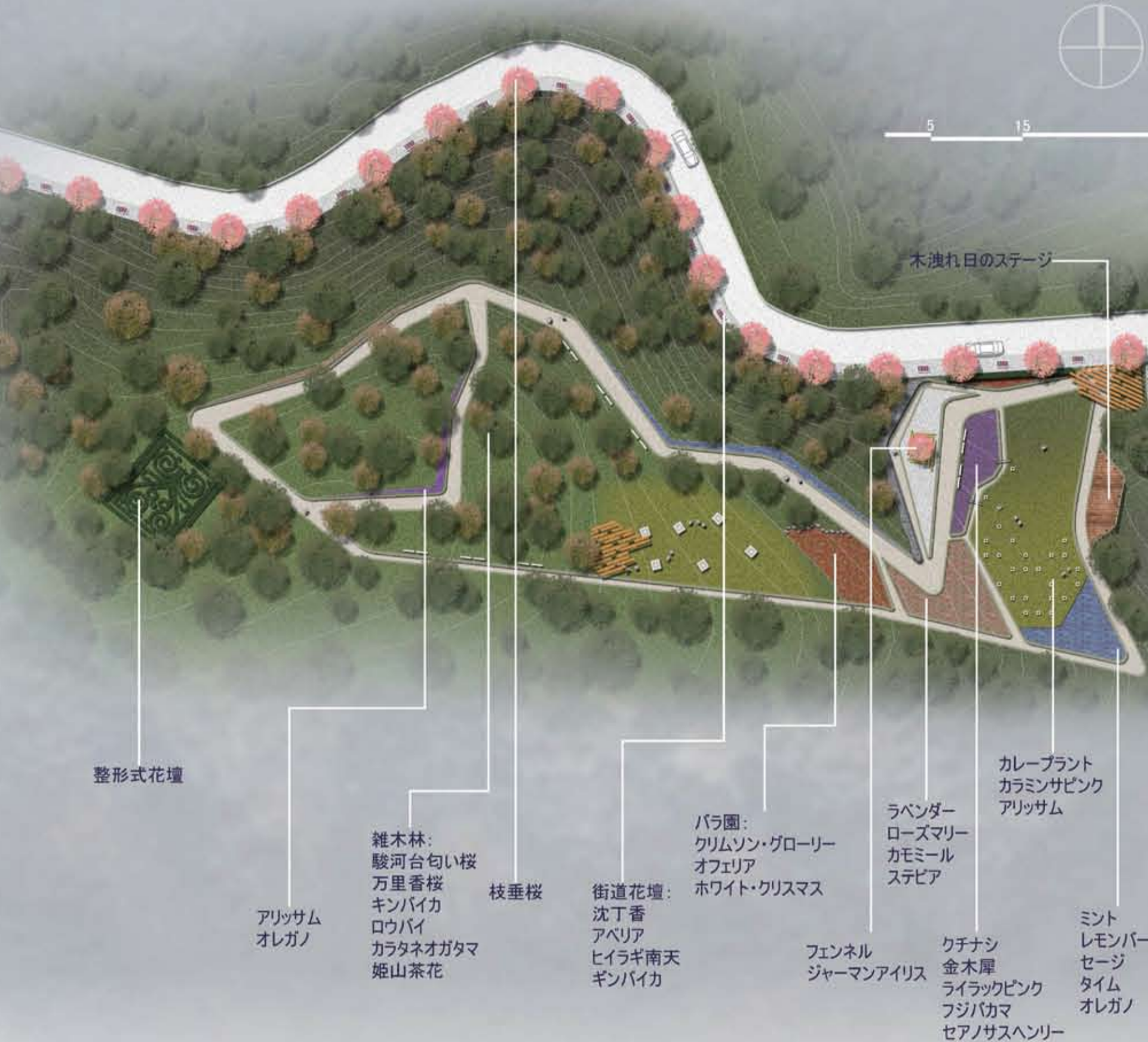


## 花期表

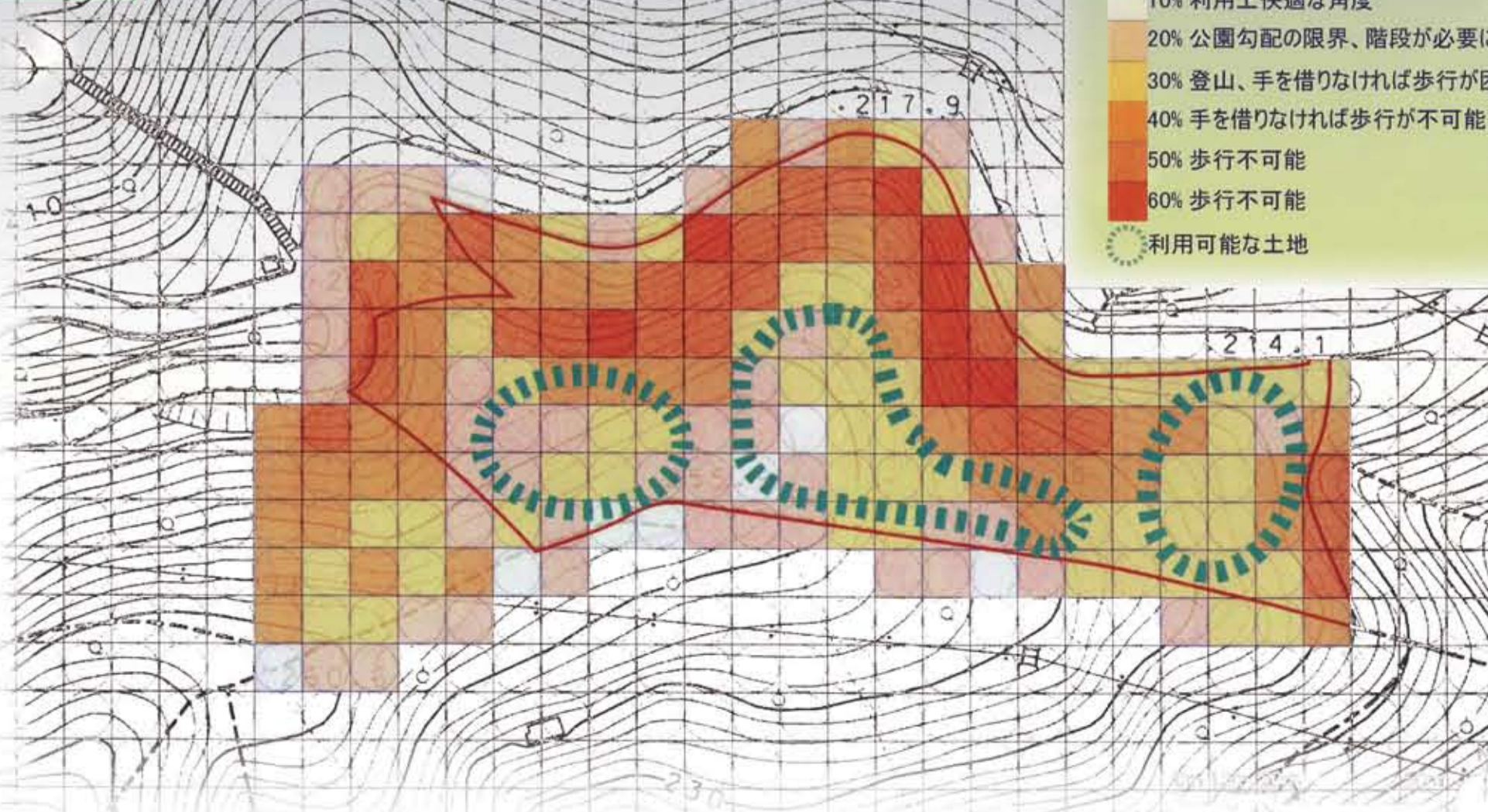
名前	時間											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ライラックピンク												
夏ロウバイ												
大島桜												
駿河台匂い桜												
万里香桜												
アリッサム												
オレガノ												
沈丁花												
カモミール												
カラタネオガタマ												
アペリア												
ヒラギ南天												
キンバイカ												
カレブランチ												
サフラン												
ギンヨウアシア												
ジャーマンアイリス												
姫山茶花												
タイサンボ												
タイム												
夜来香												
オオヤエウチナシ												



## 平面図



## 敷地分析



入口からの園内の眺め



入口上空からの園内俯瞰



園路から芝生広場と「木漏れ日のステージ」

## 企画のねらい

当NPO法人は65歳以上の元気な人たちが構成された組織で、静岡県の東端、神奈川県との県境にあって過疎化の進む地域で活動中である。メンバーは地域住民参加のもと高齢者が健やかで活力ある生活を、住み慣れた地域で営む事が出来るよう環境形成の促進に努めている。  
2011年12月より、静岡県の許可を得て県道に植えた100本の枝垂れ桜は樹高5メートルに育ち、素晴らしい春の景観となった。多くの街の人々の毎日の散歩やランニングが1年を通して、花と香りで楽しめる「香る華街道」にしたいと企画した。その「華街道」の中心部にある暗黒の森と放棄地の劣悪なる環境改善も「まちづくり」の一環として3年前より実施し、美しい庭園に再生、造園中である。  
この公開庭園「いずみ ハルカスガーデン」を「香る癒しの広場、空間」として企画した。地域は温泉と温暖、且つ風光明媚な土地であるので東京からの移住者も多く、地域一体となった高齢者の香りによる活性化サポート、香りに誘われての歩行による体力維持効果も期待したい。付帯設備として小さな「木漏れ日のステージ」を設け、薫風の中での穏やかなパフォーマンスによる発散も、生涯健全な心身でいられるようにこのねらいである。来園された人々の参加出来る公開庭園を企画した。可憐な香る花々、ハーブ園等を自らの手で園芸作業をする事は、草花の成長の楽しみと共に精神的安定の為今注目されている分野でもある。薫風の庭園ハーブ園を開放することは「地域の庭」づくりの端緒ともなり、近隣の多くの人々の希望と取り組みの中心となることだろう。

## 企画の効果

香る華街道と香る癒しの庭園は地元住民はもとより、全国各地より来られる箱根、湯河原、熱海の湯治客人も喜んで楽しむ、香りに癒される効果は絶大である。(ここは国土交通省の定めた箱根、熱海観光圏である。)この近辺にはこのような香りにあふれる広い空間、場所は無いのでこの企画は効果が高い。梅林は在るが30日で終わる。1年中香る華街道と香る公開庭園の企画は、見はるかす眺望を抱いた癒しのまちづくりとして会員50名と、地域住民大勢が楽しみつつ管理するので実効性の高い取組みとなる。絶景の「真鶴半島」と「海」と「三つ石」を眺めつつ、薫風のなかで「太極拳コーナー」で身体を伸ばし、緑陰の読書コーナー、セルフカフェ、直ぐ傍に広がるラベンダーなどのメジカルハーブ園では、健康維持に役立つハーブティを薫風の中で味わうことができる。四季にわたり身も心も安らげる香る芝生の安らぎの庭園の存在は「癒しの連鎖」を招き、生きる勇気を奮い立たせる効果が期待される。

## アピールポイント

華街道と香る花々 一年中香る花を枝垂れ桜の間に(6メートル間隔に植えてある)通年香りを絶やさないよう5種類の低木を並べて植え、四角い形に刈り込みをする。沈丁花、アペリア、ヒラギ南天、キンバイカ、オオヤエウチナシを植える。アピールポイントは、1年中香りに包まれた癒しの創造のエリアである。香る環境の中に身を置き、生きる活力の更なる向上をめざせる環境空間でありたい。  
この再生中の庭園は眺望絶佳の台地上にあって、真鶴半島、三浦半島より房総半島まで見渡せる。多くの大きな倒木にあふれていた暗黒の森を蘇らせ、出来る限りの自然林を残した。木々を渡る夏の香る涼しい風は絶佳で暑さを忘れさせる。初日の出には姫サザンカが香り、十月桜が彩を添える。春はライラック、バラ、クレマチスのトンネルを通り香る桜に癒される。夏はサロウバイ、香バラ園、ラベンダーのハーブ園にしばし身を預ける。夜は芝生テラスより目前に海より打ち上がる花火を3度も楽しみ、セアノサスを巡らした台地で夜の集いも楽しめる。秋は自然林のモミジに酔う。キンモクセイがそこはかと匂う中で落葉を集めてゆく秋を懐かしむ。温暖な冬はミカンに包まれ春の幸せを祈る。  
1年中香る花が咲き乱れる庭と癒しの森である。